



学校だより

2024年12月24日
藤沢市立御所見中学校
校長 山田 大

今年の漢字一字は「幸（しあわせ）」

～御所見中学校に関わる全ての人に感謝、来年も前向きに頑張りましょう～
私が選ぶ今年の漢字一字は、「幸（しあわせ）」です。これは、私が御所見中学校に赴任してから、9ヶ月間、本当に幸せな時間を過ごしたからです。先生方や保護者の方、地域の方に本当に親切にさせていただき、とっても幸せでした。でも、一番の幸せは日々、生徒の皆さんから、もらっています。

今日の全校集会では、「自分に優しく、人を頼る」をテーマに①「ぼく、モグラ、キツネ、馬」という絵本の朗読と、②今年の漢字一字「幸（しあわせ）」の話をしました。

絵本では、少年とモグラ、キツネ、馬が旅をしながら様々な会話をしていきます。「**大きくなったら、何になりたい？**」モグラに聞かれたので、**ぼくは答えた。「やさしくになりたい」**「**一番の時間の無駄って何だと思う？**」ぼくが訪ねると、モグラは答える。「**自分と誰かを比べることだね**」などの言葉に深く考えさせられ、引き込まれていきます。

朗読の後、今年の漢字一字を発表し、「幸（しあわせ）」という字から一本横棒を取ると「辛（つらい）」という字になること、逆に言えば「辛（つらい）」という字に横棒一本足すと「幸（しあわせ）」という字になる「**幸 - (マイナス) - (いち) = 辛**」「**辛 + (プラス) - (いち) = 幸**」について考えました。**- (マイナス) の「- (いち)」**は「物事の見方・考え方」だと思えます。七つの習慣的に言うと「**パラダイムシフト**」です。

今年の漢字一字

幸 - 一 = 辛

辛い

今年の漢字一字

辛 + 一 = 幸

幸せ

幸 - 一 = 辛

この「一」って一体なんだろう？

辛 + 一 = 幸

コップの中に、水が半分入っていたとき「もう半分しかない」と思うのか、「まだ半分も残っている」と思うのか、自分は「優柔不断で決断力がない」と思うのか、「慎重で思慮深い」と思うのか、うまくいかないときに「周りの人や環境のせい」にするのか、「自分の考えや行動」を振り返るのか…。マイナス思考では幸せになれない、幸せから一本引かれて、辛くなってしまいます。それが、**プラス思考で前向きなら同じ状況でも「幸」でいられる。**絵本の中には見方・考え方を変えるこんな言葉もありました「**自分に優しくすることが、一番の優しさなんだ**」モグラは言った。「**一番の思い違いは**」モグラが言う。「**完璧じゃないといけないと思うことだ**」**「考えてみて。恐れる心がなければ、どこまでやれるのか」**

幸 - 一 = 辛

マイナスの「一」は
『物事の見方・考え方』だと思えます
「七つの習慣」的に言うと
『パラダイムシフト』です。

辛 + 一 = 幸

プラスの「一」は
あなたの周りの『人』だと思えます
家族・友人・先生・地域の人・
その他あなたに関わる全ての人

+ (プラス) の「- (いち)」はあなたの周りの「人」、家族・友人・先生・地域の人・その他あなたに関わる全ての人だと考えます。たった一人で幸せになることは出来ない、誰かを必要とし、誰かに必要とされるから幸せになれる、弱さを見せること、助けを求めること、ありのままの自分を受け入れることで幸せになれる、辛くても、そこに誰か他の人のプラスワンがあれば、幸せになれる…絵本の中にもこのような言葉がありました。

「成功するって、どういうことかな？」ぼくが訪ねると、モグラは答えた。「そりゃあ、誰かを好きになることだよ」「ただ一緒にいるのは、意味がないこと？」ぼくが訪ねると、モグラは答えた。「そんなことないさ」「みな、何かを怖がっている」馬が言った。「でも一緒なら、怖くなくなる」「今までにあなたが言った中で、一番勇敢な言葉は？」ぼくが訪ねると、馬は答えた。「たすけて」「一番強かったのはいつ？」「弱さを見せることが出来たとき」「助けを求めることは、諦めるのとはちがう」馬は言った。「諦めないために、そうするんだ」

出典：「ぼく モグラ キツネ 馬」チャーリー・マックゾー：著 川村元気：訳 (株)飛鳥新社

ありのままの自分でいい

～勉強は出来るにこしたことはない、でもそれ以上に…～

後期の始業式では、「君たちはもっとできる！楽しんで手に入る幸せはない」という考えから「主体的に努力すること」をテーマに、主体的な学習について話をしました。前回の学校日よりでは、具体的な学習方法について「脳に負荷を与えるアクティブリコール」を紹介しました。

御所見中学校の生徒の課題として取り上げた内容ですが、学習成績や知識・技能の高さだけが人間の価値を決めるものではありません。むしろ数値では計れない、人柄・人格・人間性といった要素の方がはるかに重要だと考えます。御所見中学校の生徒は素直で、純粹で、優しく、協調性があり素晴らしい生徒です。地域や外部の方からも、よく褒められます。つまり、皆さんは「生きる力」の土台となる「人柄・人格」において人から好かれ、人を幸せな気持ちにさせる資質が備わっているとと言えます。先生方も御所見中学校の生徒には「癒やされる」「心が洗われる」とよく言っています。

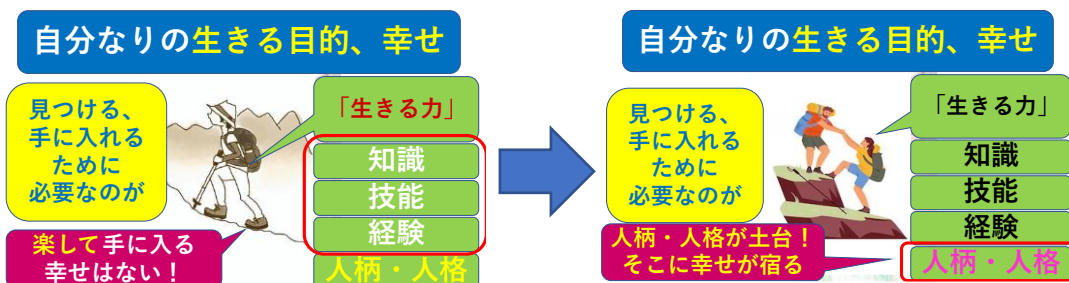
だからこそ、自信を持って、失敗を恐れず、主体的にチャレンジしてほしいのです。

そして、辛いときは、自分に優しくなって、人を頼りましょう。人柄の優れた皆さんにはきっと助けてくれる人が現れるでしょう。

だから、集会のスライドを前回に比べてこんな感じに修正しました。

【前回】

【今回】



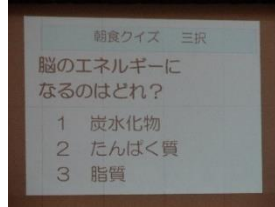
登山のイラストも前回のものは、一人で頂上を目指していましたが、今回のものは二人で助け合って登っています。基本的には自分の人生は自分自身の力で切り拓いていくものですが、大きな事を成し遂げようとしたり、困ったときには周囲の助けが必要です。

来年も「生きる力を育み」「自分も人も大切に」して、皆さん自身と周りの人の「幸せ」が叶うよう、お互いに頑張りましょう！

【落ち葉拾いキャンペーン 12月10日(火) 12(木) 17(火) 19(木)】



【2年生 食育講話 12月11日(水)】



【地域のお仕事ガイドブックDX 12月13日(金)】



【5組 クリスマス会(御所見小学校) 12月18日(水)】



【湘南台アートスクエア第3回 Winter フェスタ 12月18日(水)】



【生徒会主催 全校レク 12月19日(木)】



【1年生 職業インタビュー学年発表 12月20日(金)】



保護者、地域の皆様、行事等でお世話になった皆様に支えられ、今年の教育活動を無事に行うことが出来ました。皆様のご厚情に感謝申し上げますとともに、来年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。